

平成 18 年度化学物質の排出量・移動量の集計結果

(平成 19 年度届出分)

平成 20 年 3 月

三重県環境森林部地球温暖化対策室

特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の促進に関する法律（PRTR 法）に基づき届出・推計された平成 18 年度の三重県内の化学物質（人の健康や動植物の生息・育成に支障を及ぼすおそれ等がある 354 種類の第一種指定化学物質）の排出量・移動量を集計しました。

1. 概要

	平成18年度	平成17年度※6	前年度比
排出量・移動量の合計	20,422トン	21,808トン	-1,386トン
排出量	13,552トン	14,025トン	-473トン
届出対象の事業所からの排出量※1	8,152トン (60%)	8,512トン (61%)	-360トン
届出対象外の事業所からの排出量※2	1,802トン (13%)	2,054トン (15%)	-252トン
家庭からの排出量※3	1,030トン (8%)	1,134トン (8%)	-104トン
移動体からの排出量※4	2,568トン (19%)	2,325トン (17%)	+243トン
移動量※5(届出対象の事業所のみ)	6,870トン	7,783トン	-913トン
*1及び*5の届出事業所数	837事業所	855事業所	-18事業所

※1 及び ※5：PRTR 法に基づく届出値

※2～※4：国による推計値

※6：平成 19 年度に修正があったものを反映した値

平成 18 年度の状況を平成 17 年度と比較すると、届出対象であった事業所は、18 減少し 837 事業所でした。減少した理由は、化学物質の取扱量が少なくなったため届出対象外となったことや事業所の廃止等によるものです。

届出対象事業所からの排出量は前年度と比べて 360 トン、移動量は 913 トン減少しました。

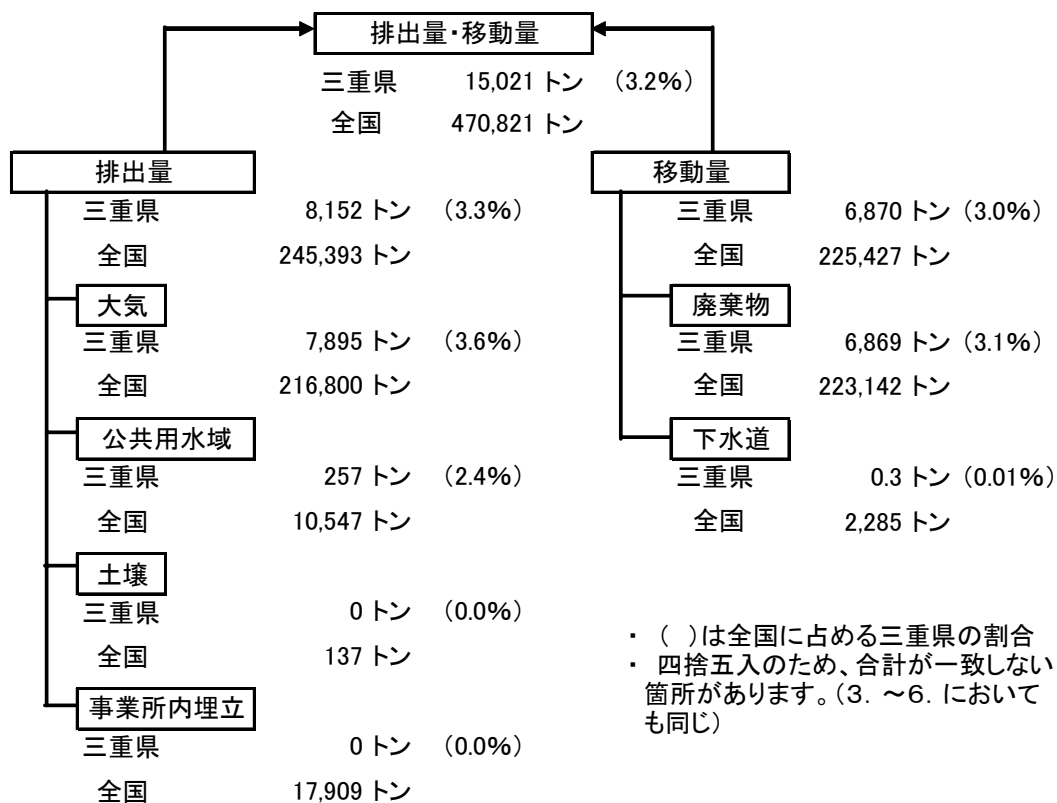
届出対象外では、移動体からの排出量が前年度と比べて 243 トン増加しましたが、事業所からの排出量は 252 トン、家庭からの排出量は 104 トン減少しました。

届出対象事業所及び届出対象外の合計排出量は前年度と比べて 473 トン減少しました。

(参考)

- ※1 届出対象の事業所からの排出量 … PRTR 法で届出が義務付けられている事業所（製造業等 23 業種に該当し、従業員数が 21 人以上、化学物質を年間 1 トン以上（特定第一種指定化学物質にあつては 0.5 トン以上）取り扱う事業所又は、焼却炉等の特定の施設を有している事業所）からの排出量。排出量は、大気、公共用水域、土壌、事業所内埋め立ての 4 区分がある。
- ※2 届出対象外の事業所からの排出量 … PRTR 法の届出対象事業所以外の事業所からの排出量。
- ※3 家庭からの排出量 … 一般家庭における殺虫剤、洗剤などの家庭用製品の使用に伴う排出量。
- ※4 移動体からの排出量 … 自動車、二輪車、船舶、鉄道車両、航空機等交通機関からの排出量。
- ※5 移動量 … 廃棄物の処理を事業所の外で行うなどで移動する量のこと、廃棄物、下水道の 2 区分がある。

2. 届出対象事業所の排出・移動先内訳



3. 届出対象事業所から排出・移動した主な化学物質

(1) 大気への排出量

順位	物質名	排出量 (トン)	主な用途
1	トルエン	3,394	化学物質の原料、油性塗料や接着剤などの溶剤
2	キシレン	1,520	化学物質の原料、油性塗料や接着剤などの溶剤
3	エチルベンゼン	1,143	スチレンの原料 油性塗料、接着剤などの溶剤中の一成分
4	ジクロロメタン (別名:塩化メチレン)	955	金属部品の脱脂、各種溶剤
5	スチレン	340	合成樹脂や合成樹脂塗料の原料
	その他	543	
	合計	7,895	

(2) 公共用水域への排出量

	物質名	排出量 (トン)	主な用途
1	ふっ化水素及びその水溶性塩	97	代替フロン、ふっ素樹脂の原料、ガラスや金属の表面加工
2	マンガン及びその化合物	67	合金の原料や鉄鋼製品を製造するときの添加剤 【二酸化マンガン】乾電池や酸化剤 【過マンガン酸カリウム】飲料水の処理
3	ポリ(オキシエチレン) =アルキルエーテル	34	合成界面活性剤(業務用)、化粧品乳化剤
4	亜鉛の水溶性化合物	13	【塩化亜鉛】活性炭、染料や農薬の製造過程で使用、乾電池の電解液 【硫酸亜鉛】レーヨンの製造過程で使用、点眼液
5	ほう素及びその化合物	8	ガラス繊維の原料 【ほう酸、ほう酸ナトリウム】害虫駆除剤、洗濯用漂白剤
	その他	37	
	合計	257	

(3) 事業所外への廃棄物としての移動量

順位	物質名	排出量 (トン)	主な用途
1	マンガン及びその化合物	1,330	合金の原料や鉄鋼製品を製造するときの添加剤 【二酸化マンガン】乾電池や酸化剤 【過マンガン酸カリウム】飲料水の処理
2	トルエン	1,301	化学物質の原料、油性塗料や接着剤などの溶剤
3	2-アミノエタノール	561	添加剤(洗剤、界面活性剤、化粧品、潤滑剤)、溶剤、洗淨剤、繊維柔軟剤)、化学物質の原料
4	キシレン	519	化学物質の原料、油性塗料や接着剤などの溶剤
5	ほう素及びその化合物	312	ガラス繊維の原料 【ほう酸、ほう酸ナトリウム】害虫駆除剤、洗濯用漂白剤
	その他	2,846	
	合計	6,869	

4. 家庭・移動体から排出された主な化学物質

(1) 家庭

順位	物質名	排出量 (トン)	主な用途
1	ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル	340	合成界面活性剤(家庭の台所用・洗濯)
2	p-ジクロロベンゼン	275	衣類の防虫剤、トイレの消臭剤
3	直鎖アルキルベンゼン スルホン酸及びその塩	252	合成洗剤の主成分 (LAS)
4	2-アミノエタノール	38	洗剤や化粧品などのpH調整剤
5	N,N-ジメチルドデシル アミン=N-オキシド	18	台所用洗剤の成分
	その他	106	
	合計	1,030	

全国の家から排出された対象化学物質は 50,029 トンであり、三重県は全国の 2.1%を占めています。

(2) 移動体

順位	物質名	排出量 (トン)	主な用途
1	トルエン	988	ガソリン等の燃焼
2	キシレン	589	
3	ベンゼン	279	
4	ホルムアルデヒド	235	
5	エチルベンゼン	159	
	その他	319	
	合計	2,568	

全国の移動体から排出された化学物質は 113,194 トンであり、三重県は全国の 2.3%を占めています。

5. 市町別化学物質の排出・移動量（届出対象事業所）

（市町は、平成19年4月1日現在の行政区分で集計しています。）

(1) 大気への排出量

順位	平成18年度		平成17年度	
	市町名	排出量(トン)	市町名	排出量(トン)
1	四日市市	2,504	四日市市	2,431
2	名張市	992	津市	1,221
3	津市	957	名張市	1,037
4	伊賀市	892	鈴鹿市	968
5	鈴鹿市	882	伊賀市	808
	その他	1,670	その他	1,652
	合計	7,895	合計	8,119

(2) 公共用水域への排出量

順位	平成18年度		平成17年度	
	市町名	排出量(トン)	市町名	排出量(トン)
1	四日市市	229	四日市市	366
2	桑名市	7	津市	7
3	いなべ市	6	桑名市	7
4	津市	6	いなべ市	6
5	鈴鹿市	3	鈴鹿市	3
	その他	4	その他	5
	合計	257	合計	394

(3) 廃棄物としての移動量

順位	平成18年度		平成17年度	
	市町名	移動量(トン)	市町名	移動量(トン)
1	四日市市	4,582	四日市市	5,362
2	伊賀市	525	伊賀市	619
3	亀山市	453	亀山市	302
4	名張市	259	津市	296
5	津市	258	鈴鹿市	254
	その他	794	その他	947
	合計	6,869	合計	7,781

6. 特定第一種指定化学物質（発がん性のある 12 物質）の排出量・移動量（届出対象事業所）

物質名	排出量(kg)		移動量(kg)
	大気	公共用水域	廃棄物
石綿	0	0	8,530
エチレンオキシド	8,880	70	7,850
カドミウム及びその化合物	0	17	0
六価クロム化合物	7	163	5,232
塩化ビニル	20,700	3,600	17,000
ニッケル化合物	16	1,186	40,260
砒素及びその無機化合物	5	19	40,480
ベリリウム及びその化合物	0	0	0
ベンジリジン＝トリクロリド	0	0	0
ベンゼン	8,665	63	76
メキサレン	0	0	0
合計(平成18年度)	38,273	5,118	119,428

参考: 合計(平成17年度)	78,060	4,781	134,432
----------------	--------	-------	---------

物質名	排出量(mg-TEQ)※		移動量(mg-TEQ)※
	大気	公共用水域	廃棄物
ダイオキシン類	2,835	10	19,405
参考: 平成17年度	3,848	11	8,192

※ ダイオキシン類の単位は、mg-TEQです。なお、TEQは毒性当量を示します。

(参考情報)

- 環境省ホームページ「PRTR インフォメーション広場」：PRTR 法の届出方法から集計結果まで PRTR に関わる情報が掲載されています。

<http://www.env.go.jp/chemi/prtr/risk0.html>

- 環境省ホームページ「リスクコミュニケーションの推進」：化学物質や環境リスクについての情報が掲載されています。

<http://www.env.go.jp/chemi/communication/index.html>